

会 議 録 要 旨

会 議 名	令和4年度 第2回 大垣市介護保険運営協議会
場 所	大垣市役所 4階 情報会議室
日 時	令和4年11月18日 13:30～14:35
出 席 者	委員 14名 (別紙に記載) (事務局) 健康福祉部長 介護保険課：課長、主幹3名、主査1名 高齢福祉課：課長、主幹4名 保健センター：所長、主幹1名
司 会	皆さん、こんにちは。本日は、大変お忙しい中、令和4年度大垣市介護保険運営協議会の第2回会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。私は、本日の司会を務めさせていただきます、介護保険課長の富永でございます。よろしくお願いいたします。 本日の会議には、清水副会長から、ご欠席の連絡をいただいておりますので、ご報告いたします。 それでは、はじめに、沼口会長様よりごあいさつをお願いいたします。
会 長	《 挨拶 》
司 会	ありがとうございました。次に、次第の3、「議題」に移らせていただきます。これよりの進行につきましては、沼口会長をお願いいたします。
会 長	議事に入ります前に、本日の会議につきましては、個人情報など非公開とする案件に該当するような事案がないことから、会議は公開とさせていただきます。 本日は傍聴人はありませんので、これより、議事に入ります。はじめに、議題の(1)、大垣市高齢者福祉計画（第9期介護保険事業計画）の策定のためのアンケート調査について、事務局から説明をお願いいたします。
事 務 局	《資料No.1、別紙資料により説明》
会 長	ただいま、資料のご説明をいただきましたが、これにつきまして、ご意見やご質問があればお願いいたします。
委 員	調査コード5、17 ページ問 37 に、「在宅医療マップを知っていますか。」という設問がありますが、それ以外に、市と医療が連携して進めている芭蕉ネットについて追加していただきたいと思っておりますがいかがでしょうか。

会議録要旨

事務局

検討させていただきます。

委員

調査コード1について、65歳以上で働いている方は多いので、職業欄があってもよいのではないかと思いました。

2ページの間12について、身長と体重は必要なのかなと思いました。

10ページの間41の選択肢に「地域包括支援センター」がありますが、言葉の説明は14ページの間51で出てきますので、間41に入れてもよいのではないかと思いました。

13ページの間48-1について、回答をする人は間48で「自宅で生活したい」と答えています。その人に最期まで自宅で生活したいか尋ねるのは重複するのではないかと感じました。

調査コード2、2ページの間7について、身長と体重の設問については、調査コード1で申し上げたのと同様です。

6ページ間18について、「③満足度」に答える人はサービスを利用しており当然知っているので「①知っている」にも○をつけるのか、必要はないのか、回答の際に多少迷われるのではないかと思いました。

10ページの間23については、調査コード1間48の指摘と同様です。

調査コード3、2ページの間6について、入所している施設の選択肢は2つです。最近是有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅が増えてきていますが、それらは調査対象とならないでしょうか。

調査コード4、8ページから職員のことについて設問があります。外国人職員の雇用だけでなく、最近増えてきている65歳以上の職員雇用について、新しい項目で尋ねてはいかがでしょうか。県の調査では職員の3割程度が65歳以上となっていますので、今後十分な戦力となってきます。

採用ルートも、最近は特に有料職業紹介所や人材派遣等がありますので、聞いてもらおうと参考になるのではないかと思います。

9ページの間9-1に「介護助手」の定義が説明されていますが、現在、県では「ぎふケアパートナー」という名称で進めていますので、()書きで加えていただくとよいと思います。

13ページの間12について、虐待についての設問は調査コード5でケアマネジャーに対して質問するため、こちらで法人に尋ねる必要はないのではないかと思います。

最後に、法人に対するアンケートということで、感染症対策やコロナ禍で困っていることを聞いてもらえるとよいのではないかと思います。

会 議 録 要 旨

事務局 貴重なご意見ありがとうございました。いただいたご提案を十分検討し、会長と協議の上決定してまいりたいと思いますので、ご了承いただきたいと存じます。

会 長 特に、高齢者の介護職員の雇用割合は貴重な資料となり得ます。また、感染症対策やコロナ禍で困っていることのご意見を集められると、今後の施策に活かせるのではないかと思います。

委 員 人生会議についてのご意見をケアマネジャーや施設入所している方など、すべての方にどのような関わり方をしているか、知っているか聞いてもらえるとよいかと思います。

委 員 5つの調査票がありますが、他にも介護サービスに関わる方がいらっしゃるのでは、もう少し調査対象を広げることはできないでしょうか。

事務局 9期計画策定に際しては、当運営協議会の場をはじめ、幅広い団体の方々のご意見をお聞きしながら進めてまいります。今回のアンケート調査についてはお示しした5種類で進めたいと考えておりますのでご理解賜りますようお願い申し上げます。

会 長 ありがとうございます。それでは、議題につきましては、終了いたします。続きまして、事務局から、報告事項について説明をお願いいたします。

事務局 ≪資料No.2～5、別紙資料により説明≫

会 長 ただいま、資料のご説明をいただきましたが、これにつきまして、ご意見やご質問があればお願いいたします。

委 員 足腰が弱って歩行が困難な人のリハビリを目的とした足漕ぎ車いすというものがあります。介護保険における福祉用具貸与で、車いすは要支援や要介護1の人は使うことができませんが、主治医の判断で特例的に利用が可能です。足漕ぎ車いすについても同様に考えてよろしいでしょうか。

事務局 個別のものになりますので、持ち帰って回答させていただきます。

会議録要旨

委員 元々は片麻痺の人のリハビリをスムーズに進めるために開発されたものです。両足で立って掴まって歩くより安定して移動ができるということで、利用者の日常生活に対するモチベーションが上がると思います。問題は費用が高く、メーカー等は月に1万5千円くらいで貸し出していて、購入すると40万円ほどします。

転倒することで医療費が上がったり、寝たきりになったりすることを予防する観点から、そういったものを利用できるとありがたいです。

委員 排泄予測支援機器がどのようなものか説明してください。

事務局 尿が膀胱に溜まったことを、取り付けたセンサーによって介助している人のスマートフォン等にお知らせする装置です。

委員 「予測」ということは排泄前に知らせるということですか。

事務局 ある程度溜まってきたところで通知されます。今年度の4月から対象になったもので、今のところ利用者はいません。

委員 他人が使ったものは使いたくない気持ちもわかりますが、購入しても結果的にうまく使えないとか、介護の状態が変わることで短期間しか使用できないこともありますので、レンタルがあれば無駄になることは少ないのではないかと思います。

委員 最近は多くの業者がデモ機を貸し出しています。1週間くらい使ってから購入されることが多いと聞いています。確かめてから購入を検討されるのが良いかと思います。

会長 そのほか、特にご発言もないようですので、最後に、事務局からお願いいたします。

司会 それでは、これをもちまして、本日の会議を終了させていただきます。皆様、誠にありがとうございました。